

# 風水害から身を守ろう

関連 WEBサイト  
 気象庁 高解像度降水ナウキャスト  
 気象庁 大雨警報(浸水害)の危険度分布  
 気象庁 洪水警報の危険度分布

## 避難のポイント

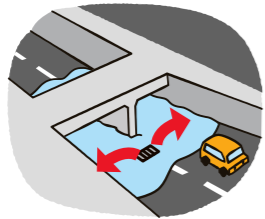
### 避難のときの靴

長靴は水が入って歩きにくく危険です。裸足やスリッパも禁物です。なるべく運動靴をはきましょう。



### アンダーパスに注意

鉄道の下など路面が低くなっているところは、水がたまるおそれがあるので、車で入らないようにしましょう。



### 見回りは絶対ダメ

大雨時の田んぼや河川の見回りは大変危険です。やめましょう。



### 避難路に注意

橋を渡らないようにしましょう。



### 足元に注意

足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも、道路の真ん中を杖でつきながら慎重に歩きましょう。



### 電線に注意

垂れ下がった電線には近づいたり、触ったりしないようにしましょう。



### 車は冠水に弱い

水深30cmで、ほとんどの車は止まってしまいます。従って浸水や冠水の危険を感じたら、すみやかに車を高台などに移動させましょう。冠水のためエンジンが止まったり、エンジンの吸気系に水が入っているかもしれないので、道路の水が引いたからといってそのままエンジンをかけると、故障するおそれがあります。



## 雨の降り方と強さ

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上	110mm
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	記録的短時間大雨情報
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨(気象台が発表)
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる		特に、土砂災害警戒区域や浸水想定区域にお住まいの方は、避難情報を確認し、早めに避難行動を取ってください。
屋内(木造住宅を想定)の様子	雨の音で話し声が良く聞き取れない		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		

### 注意報レベル

### 警報レベル

※今いる場所で雨が降ってなくても、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

## 局地的大雨に注意しましょう!

局地的大雨は、発達した積乱雲に伴って発生します。短時間のうちに雲がもくもくと大きくなって周囲が薄暗くなるようなときには、災害が発生する可能性が高まっていることを意識してください。次のような現象を確認して危険を感じたら、すぐに身の安全を確保しましょう。

- 真っ黒い雲が近づき、あたりが急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷の光が見えたりする。
- 急に冷たい風が吹く。
- 大粒の雨やひょうが降り出す。



### 雷から身を守る

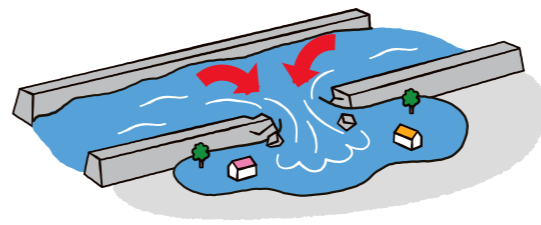
- 雷鳴が聞こえたらすぐに避難。
- 建物や屋根付きの乗り物へ避難(木の下は危険!)
- 屋内でも感電する場合がある(電気の配線、水道管など)。
- 木や電柱から4m以上離れ、姿勢を低く。



## 氾濫の種類

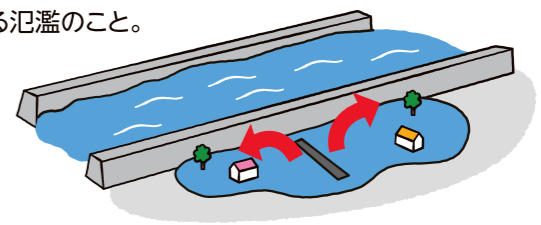
### 外水氾濫

河川の堤防から水が溢れ、または堤防が決壊して家屋や田畑が浸水すること。



### 内水氾濫

堤防から水が溢れなくても、川の水位上昇や下水路の排水能力の不足などが原因で、降った雨を排水処理できずに引き起こされる氾濫のこと。



## 河川水位と防災情報の関係性

※洪水浸水想定区域内にお住まいの方は特に市からの情報に注意してください。

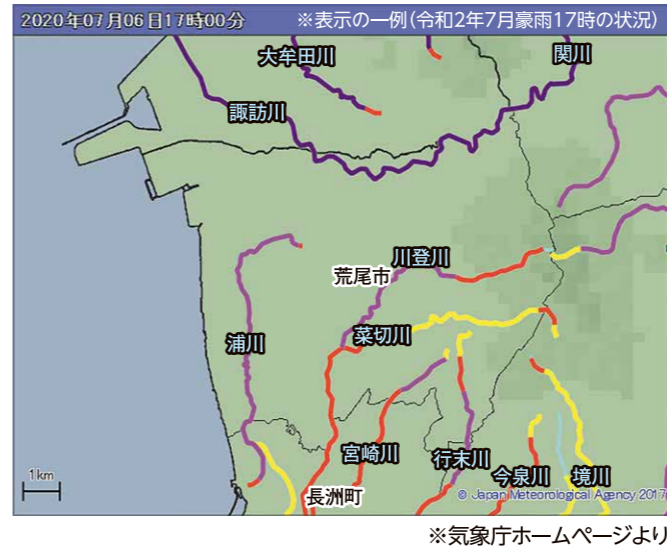
	関川	浦川	菜切川
▼ 堤防を越える			
▼ 氾濫危険水位	氾濫のおそれがある水位	6.15m	3.92m
▼ 避難判断水位	住民の避難の参考となる水位	-	3.63m
▼ 氾濫注意水位	住民が避難行動の準備を行う目安となる水位	4.87m	3.31m
▼ 水防団待機水位	水防団が待機を始める水位	3.05m	3.26m

## 洪水警報の危険度分布

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



中小河川の洪水災害発生危険度の高まりを、5段階に色分けして示す情報です。避難にかかる時間等を考慮して、3時間先までの雨量予測値(10分ごとに更新)を用いており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



色が持つ意味	表示色の説明
極めて危険	過去の重大な洪水発生時に匹敵する基準をすでに超過。重大な洪水災害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。
非常に危険	中小河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害となる可能性が高い状況。氾濫危険水位等を超えたら速やかに避難を開始する。
警戒(警報級)	中小河川が増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害となる可能性がある状況。避難判断水位等を超えたら避難の準備をして早めの行動を心がける。高齢者等は速やかに避難を開始する。
注意(注意報級)	ハザードマップ等で避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。

## 台風のポイント

台風の大きさは、強風域(風速15m/s以上の強い風が吹いているか、地形の影響などがない場合に吹く可能性のある範囲)の半径で表し、台風の強さは、最大風速で区分しています。台風に関する情報の中では、台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で非常に強い台風」のように呼びます。

### 大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

### 強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s以上44m/s未満
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

